

ちょっとだけ
分かりやすい

豊岡市の財政

2026



豊岡市 行政管理部 財政課

予算とは？

- ✓ 予算とは、1年間に市に入ってくる税金や、国・県からの交付税・補助金などの収入を見積もって、その範囲内で何に、誰に、どのくらいお金を使うのかを計画したものです。
- ✓ 市の仕事はこの予算に従って行われます。逆に言えば予算がなければ何もできません。

当初予算と補正予算

➤ 当初予算

前年度の3月議会に提出し、議会の議決を経て成立する予算。当該年度の基本的な予算。

➤ 補正予算

当初予算編成後に、災害や不測の事態などが生じた場合に、追加や変更を行う予算。基本的に当該年度の6月、9月、12月、3月議会に提出し、議会の議決を経て成立する予算。

歳入歳出予算

➤ 歳入予算と歳出予算は同額

歳入予算と歳出予算はバランスが取れている必要があるため、必ずイコール（同額）になる。

➤ 歳出は予算を超えて支出することはできない

歳出予算は執行を拘束することになり、歳出予算以上の支出はできない。

➤ 歳入は予算を超えることもある

財政とは？

- ✓ 財政とは、お金のやりくりのこと！ 歳入、歳出、基金、地方債の4つのポイント！
- ✓ 家計でいえば、給料、支出、貯金、借金に該当します。
- ✓ 歳出（支出）が増え、歳入（給料）が不足すれば、基金（貯金）や地方債（借金）を活用。余れば基金（貯金）に積み立てます。

歳入

一会計年度（4/1～翌年3/31）における全ての収入のこと

歳入は、次の2つの区分があ

①**自主財源**（市税や寄附金など市独自の財源）と**依存財源**（地方交付税や国県支出金など国などからもらったもの）

②**一般財源**（市税、地方交付税など使途が特定されていないもの）と**特定財源**（国県支出金など使途が特定されているもの）

歳出

一会計年度（4/1～翌年3/31）における全ての支出のこと

歳出も、次の2つの区分があ

①**目的別歳出**（議会費、総務費、民生費、農林水産業費、土木費、消防費、教育費などの目的別・サービス別分類）

②**性質別歳出**（人件費、扶助費、公債費、物件費、補助費などの性質・性格別分類）

基金

家計でいう貯金

年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金、地方債の償還を計画的に行う市債管理基金等がある。

地方債

家計でいう借金

世代間の負担の公平と財政収支の年度間調整がある。

会計（お財布）とは？

- ✓ 市では、福祉、子育て、ごみ処理、道路整備、健康保険、水道など、まちづくりに必要な多くの事業を実施しています。
- ✓ お金の出し入れを分かりやすくするため、特定の事業は会計（お財布）を分けて管理しています。

一般会計

市の会計の中心をなすもので、基本的な経費を網羅したものの。市の予算といえば、一般会計を指す。

- 一般会計

特別会計

特定の事業を行うもので、特別の必要がある場合に、一般会計から区分した会計。

- 国民健康保険事業（事業勘定）
- 国民健康保険事業（直診勘定）
- 後期高齢者医療事業
- 介護保険事業
- 診療所事業
- 霊苑事業
- 太陽光発電事業
- 管理会財産区

8つのお財布

企業会計

民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営する会計。

- 水道事業
- 下水道事業



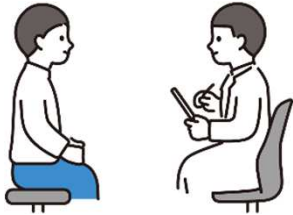








2つのお財布

2026年度会計別予算（全会計869億7,277万円）

一般会計517億5,000万円

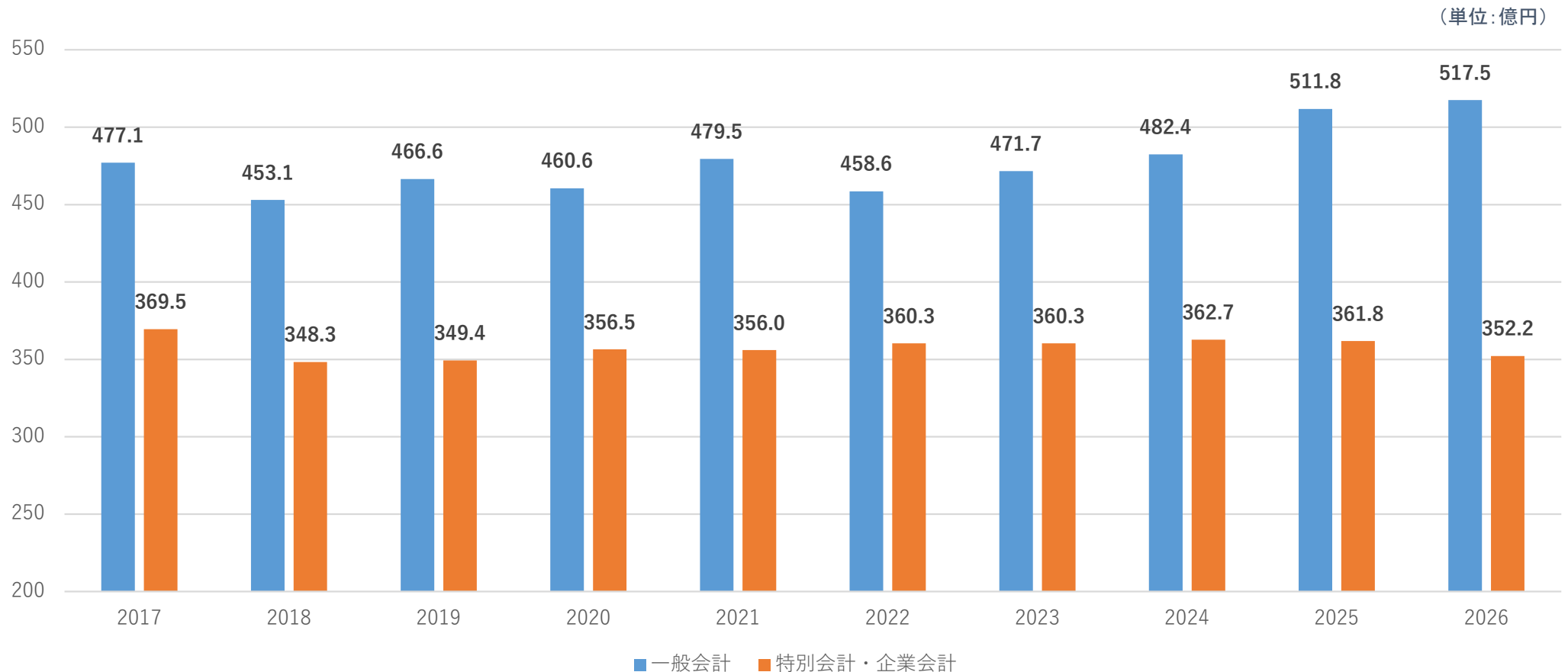
特別会計209億4,725万円

企業会計142億7,552万円

<p>一般会計 517億5,000万円</p> 		<p>国民健康保険事業 (事業勘定) 84億8,876万円</p> 	<p>国民健康保険事業 (直診勘定) 8,584万円</p> 	<p>後期高齢者医療事業 16億8,269万円</p> 	<p>介護保険事業 102億9,956万円</p> 
<p>診療所事業 2億7,693万円</p> 	<p>霊苑事業 891万円</p> 	<p>太陽光発電事業 1億280万円</p> 	<p>管理会財産区 176万円</p> 	<p>水道事業 42億9,902万円</p> 	<p>下水道事業 99億7,650万円</p> 

予算規模の推移

- ✓ 一般会計の2026年度の予算は過去2番目の規模で517.5億円です。
- ✓ 子ども医療費助成の拡充、保育料の軽減、稼ぐ力強化総合支援、脱炭素先行地域の推進公立豊岡病院組合への財政支援などにより、前年度比5.7億円、1.1%の増となっています。
- ✓ 特別会計・企業会計は360億円前後で推移しています。



歳入（2026年度一般会計予算）

- ✓ 市の歳入には自主財源と依存財源があります。
 - ▷ 自主財源38.7%：市税、繰入金、寄附金、使用料及び手数料など、市独自の財源
 - ▷ 依存財源61.3%：地方交付税や国県支出金など、国や県などの外部からもらった財源
- ✓ 豊岡市は自主財源の割合が低い。一般的には自主財源比率が高い方が良いとされています。

※自主財源比率は2025年度に比べ上昇（改善）していますが、公立豊岡病院組合への貸付に伴う基金からの繰入金を増額しているため、財務体質が改善した訳ではありません。

（単位：億円）

●地方交付税

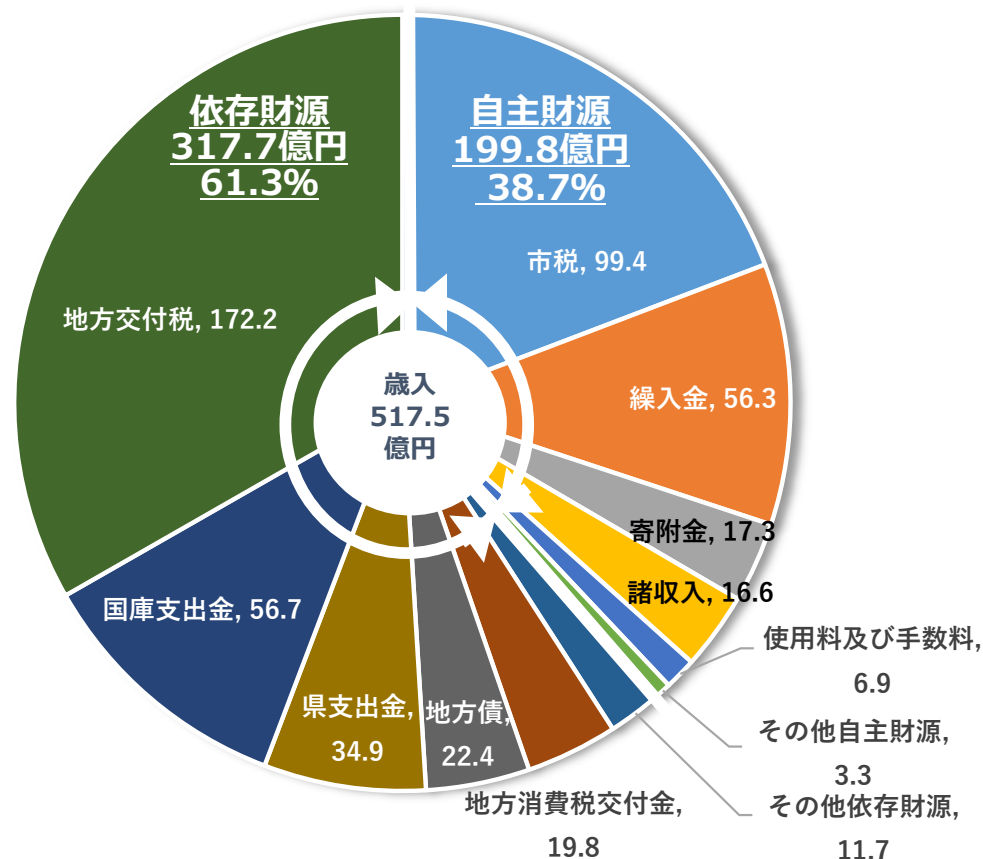
地域ごとの状況の違いによって生じる地方税収の差などを調整するため、国から財源が足りない地方公共団体に交付されるお金。

●国県支出金

特定の事業に対して、国・県から使いみちを指定して交付されるお金。

●地方債

長い間利用される市の施設を作るため、国や銀行から借り入れるお金。



●市税

市内にお住まいの個人や市内に事業所がある法人が納める市民税、土地や家屋などを持っている方に納めていただく固定資産税など、市民の皆さんにご負担いただくお金。

●繰入金

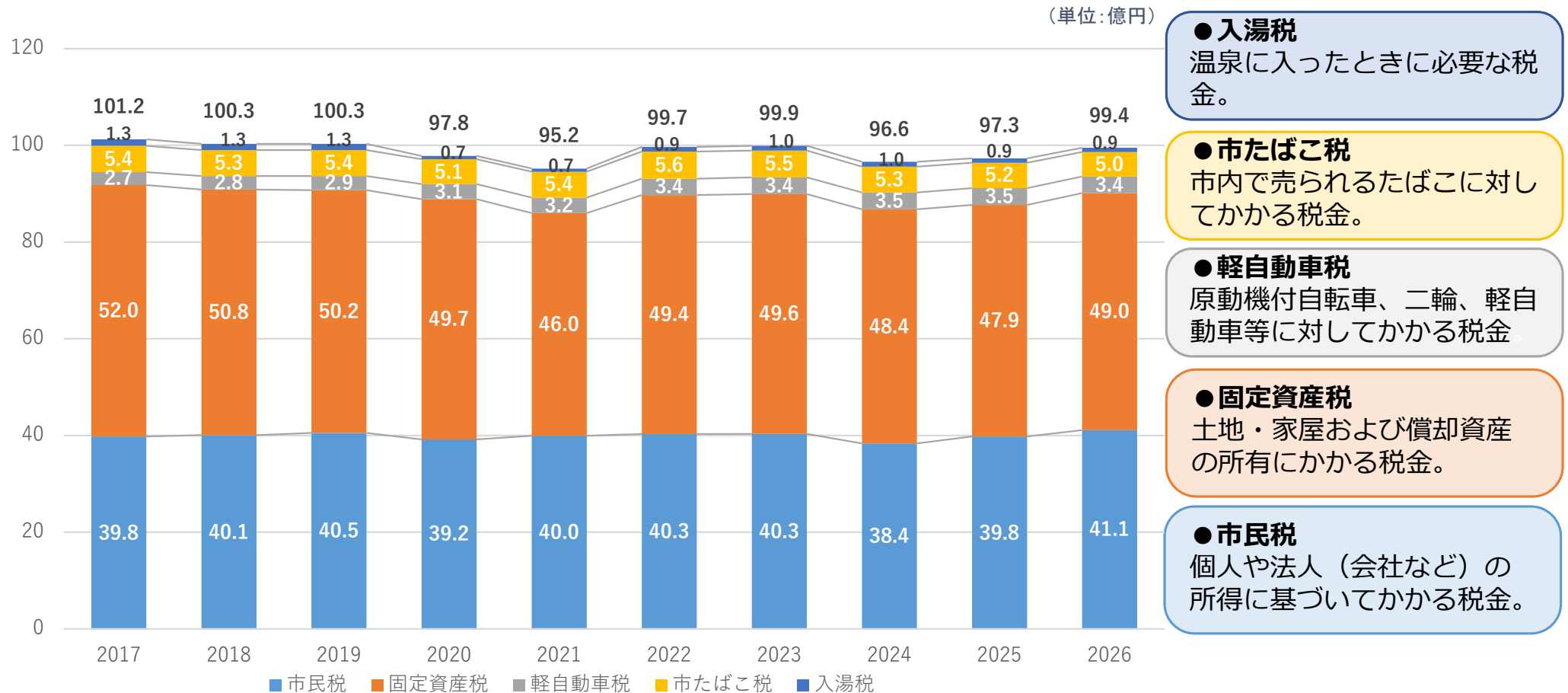
基金の取り崩しなど繰り入れるお金。

●寄附金

ふるさとや応援したい自治体へ寄附する「ふるさと納税」などのお金。

歳入：市税の予算推移

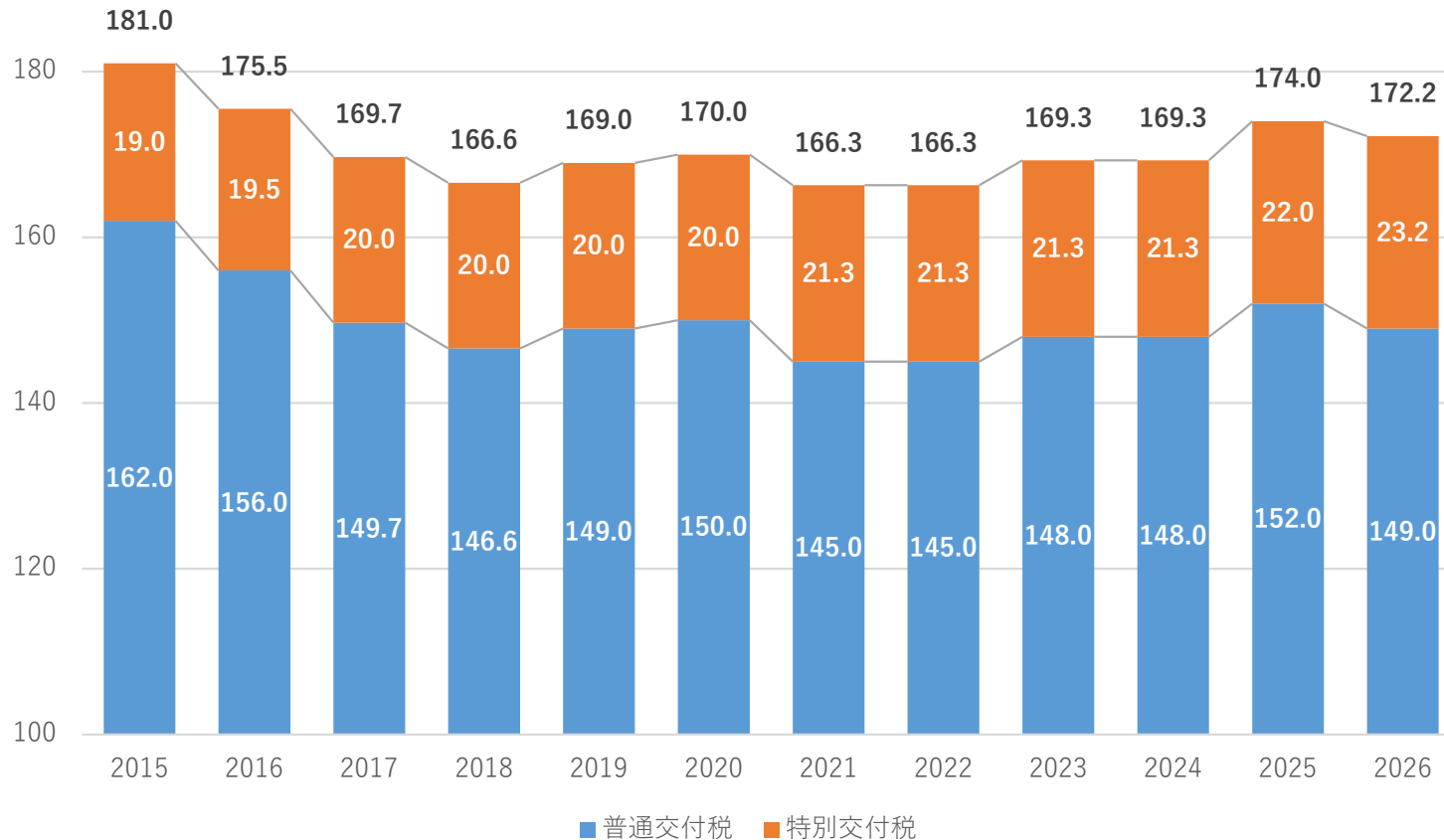
- ✓ 自主財源の市税はとても重要な財源。100億円程度で推移しています。
- ✓ 2021年度はコロナ禍により大幅減収で予算化（※実際には補正予算で上方修正）
- ✓ 人口減少により、今後、市税は減収が見込まれます。



歳入：地方交付税の予算推移

- ✓ 地方公共団体間の行政サービスの差をなくすために国から配分される地方交付税。普通交付税と特別交付税の2種類に分かれています。
- ✓ 普通交付税については、市町合併の優遇措置が2016年度から段階的に縮減され、2021年度で完全終了。試算では年間17.2億円もの恩恵が消滅。厳しい財政状況が続いています。

(単位:億円)



● 特別交付税

普通交付税では算定されない災害などの特別な需要に交付される。

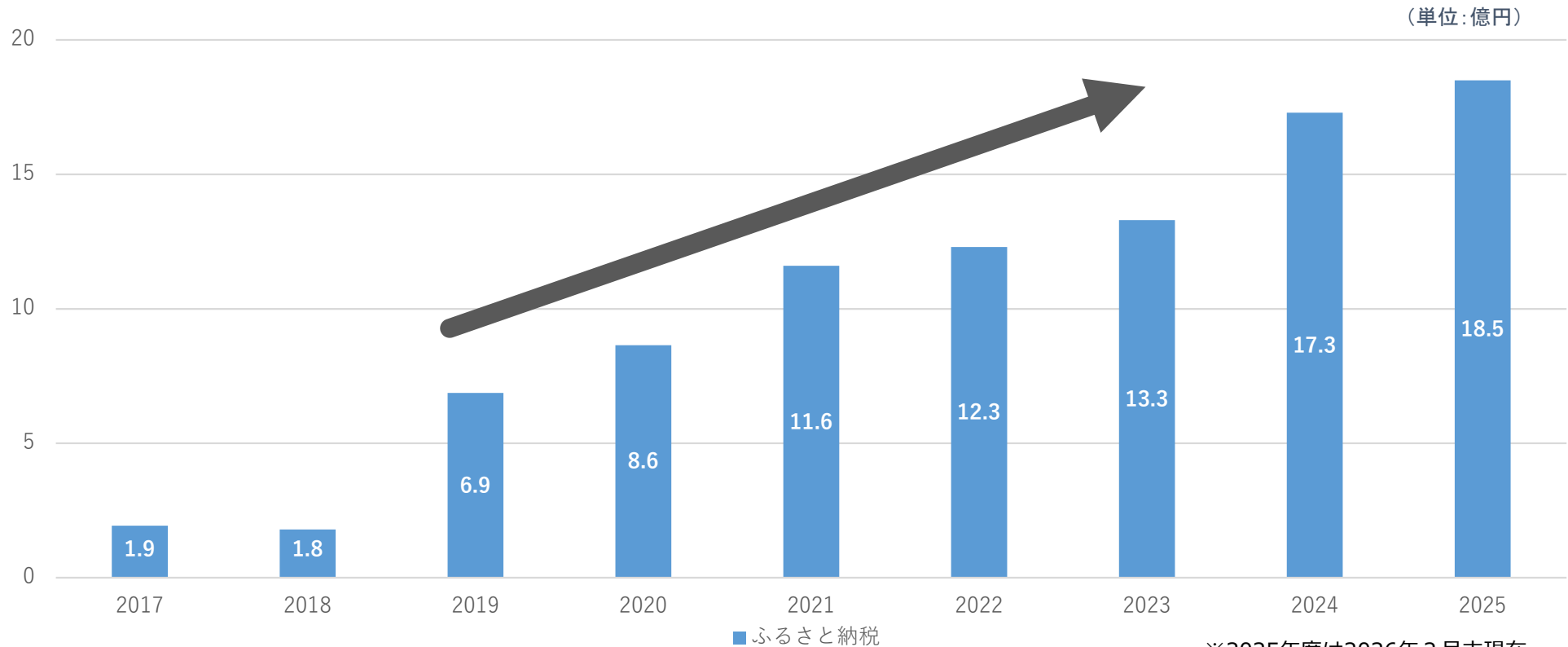
● 普通交付税

一般的な財政需要（日々の行政運営に必要な経費）に対する財源不足額に見合いの額として算定され交付される。

歳入：寄附金（ふるさとと納税実績）

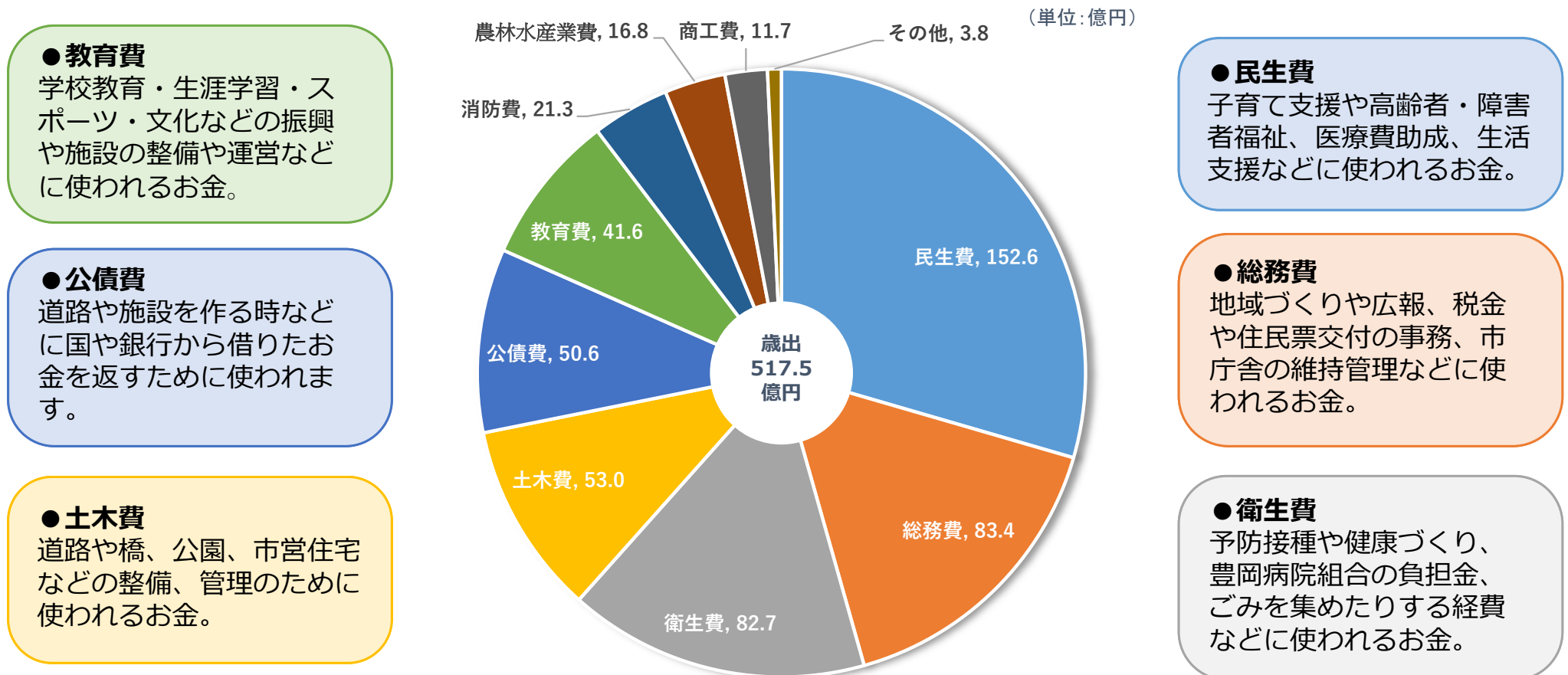
- ✓ ふるさとや応援したい自治体へ寄附をした個人・法人の納税額を軽減するふるさと納税。市では2019年度以降、大幅に増収しています。
- ✓ 実は普通交付税の減収分を、ふるさと納税の増収で補填している状況。いまや全国で奪い合いの状態。もし、ふるさと納税が減収となったら大変なことに…

※いただいた貴重なふるさと納税は、半分は寄付者への返礼品・事務費として、残り半分は次年度のまちづくり、子育て、安全安心、自然との共生、支え合い事業等に活用させていただいています。



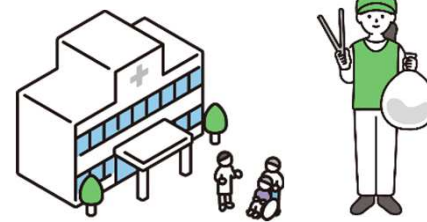










目的別歳出（2026年度一般会計予算）

- ✓ 福祉、子育て、ごみ処理、予防接種、道路整備、教育、借入返済、消防・救急など、さまざまな目的、サービスに使われています。
- ✓ 一番金額が大きいのは、子育て支援や高齢者・障害者福祉、医療費の助成などに使われる「民生費」で、総額の約3割を占めています。



目的別歳出（2026年度一般会計予算）

<p>民生費 152.6億円 30%</p>  <p>◎ 207,000円</p>	<p>総務費 83.4億円 16%</p>  <p>◎ 113,000円</p>	<p>衛生費 82.7億円 16%</p>  <p>◎ 112,000円</p>	<p>土木費 53億円 10%</p>  <p>◎ 72,000円</p>
<p>公債費 50.6億円 10%</p>  <p>◎ 69,000円</p>	<p>教育費 41.6億円 8%</p>  <p>◎ 56,000円</p>	<p>消防費 21.3億万円 4%</p>  <p>◎ 29,000円</p>	<p>農林水産業費 16.8億円 3%</p>  <p>◎ 22,000円</p>
<p>商工費 11.7億円 2%</p>  <p>◎ 16,000円</p>	<p>議会費 2.5億万円 1%</p>  <p>◎ 3,000円</p>	<p>労働費 4,300万円 — %</p>  <p>◎ 600円</p>	<p>その他 8,500万円 — %</p> <p>内訳 諸支出金 予備費</p> <p>◎ 1,000円</p>

◎の金額は市民1人当たりの額です。

性質別歳出（2026年度一般会計予算）

- ✓ 職員の給料、生活保護、借入返済、道路整備、特別会計への繰出、補助金、物品購入など、さまざまな用途に使われています。
- ✓ 人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が必要で、節減が困難なことから「義務的経費」と分類され、総額の約半分を占めています。

●貸付金

市が直接あるいは間接に現金の貸付を行うためのお金。

●繰出金

国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業など特別会計に支払う経費に使われるお金。

●普通建設事業

道路や建物などの工事にかかる経費に使われるお金。

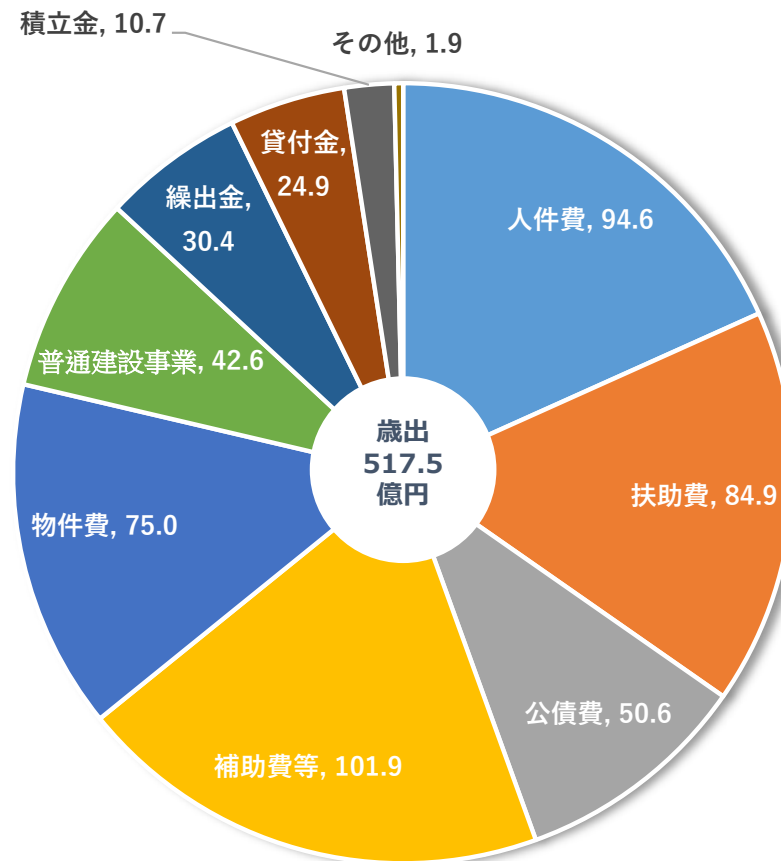
●物件費

光熱水費、消耗品や備品の購入費、委託料などの消費的経費に使われるお金。

●補助費等

水道・下水道事業、公立豊岡病院組合への負担金や各種団体への補助金などに使われるお金。

（単位：億円）



義務的経費

●人件費

職員の給料・退職金などに使われるお金。

●扶助費

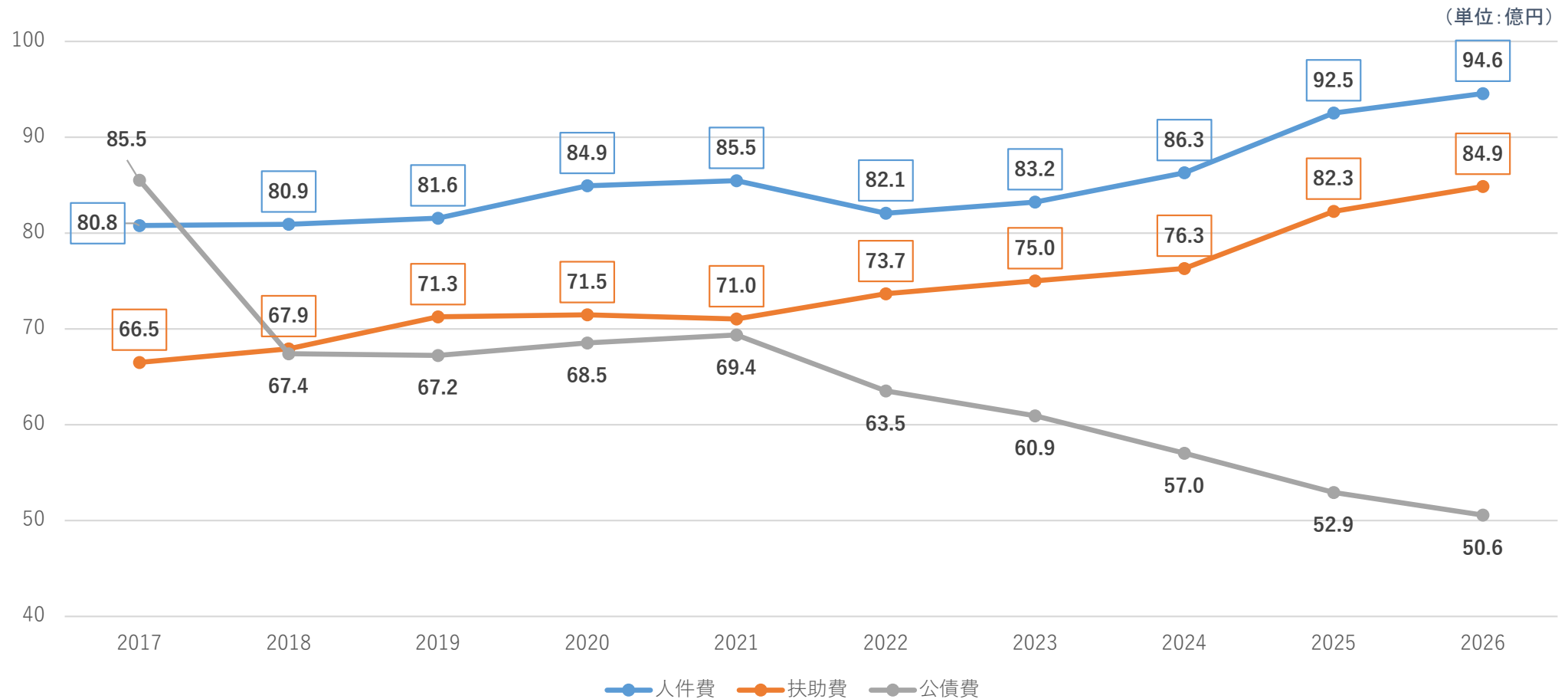
生活保護や医療費の助成など国の法律（社会保障制度）に基づいて支給するお金。

●公債費

道路や施設を作る時などに国や銀行から借りたお金を返すために使われる。

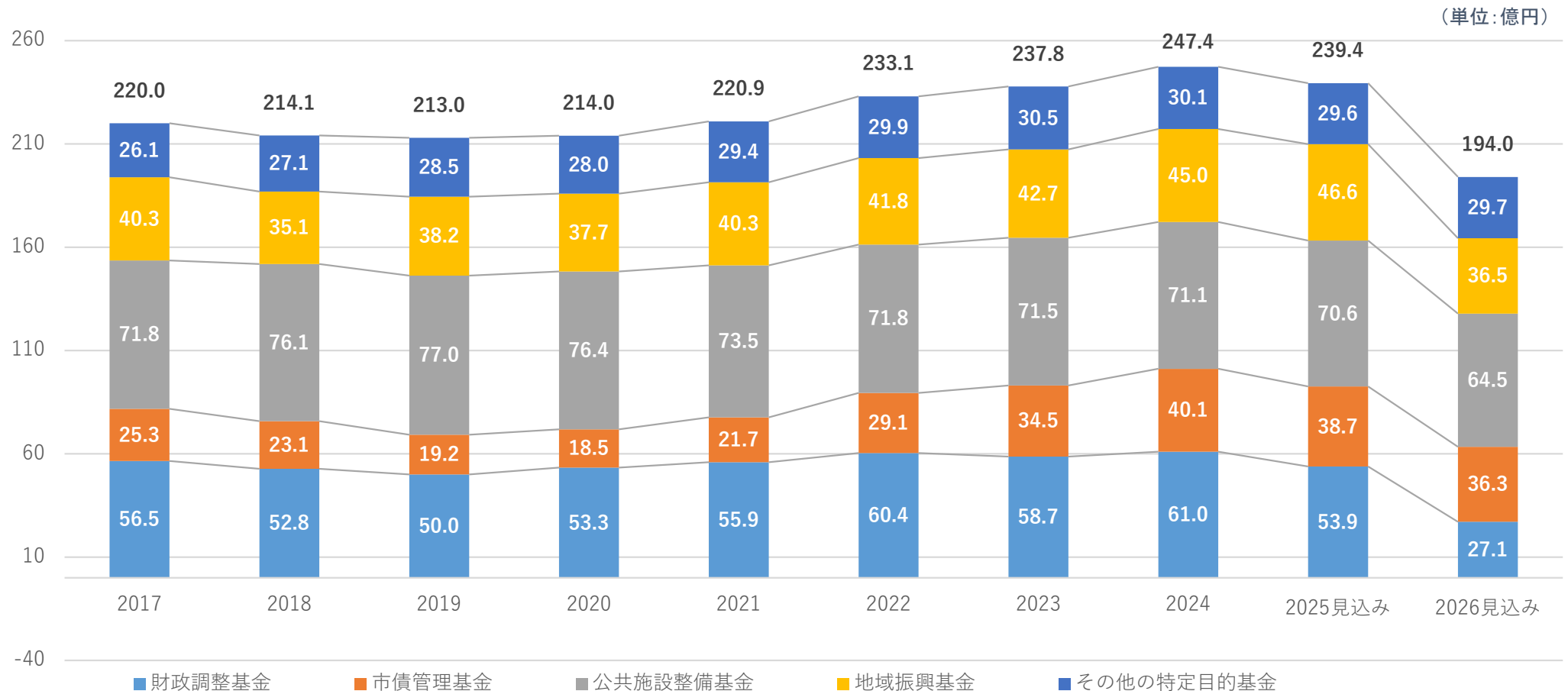
歳出：義務的経費の予算推移

- ✓ 人件費、扶助費、公債費の「義務的経費」は増加傾向にあります。
- ✓ 内訳をみると公債費は減少する一方、人件費、扶助費が大きく増加しています。
- ✓ 人件費は職員の処遇改善により2022-2026年度比較で約13億円増加。
- ✓ 扶助費は2017-2026年度比較で約18億円増加。増加傾向に歯止めがかかりません。



基金

- ✓ 家計でいう貯金。年度間の財源の不均衡の調整、将来の施設整備の備えなど、それぞれの目的に応じて貯金しています。
- ✓ 一般会計では財政調整基金、特定目的基金など全部で19の基金を持っています。2026年度は公立豊岡病院組合への貸付のため、財政調整基金から10億円、地域振興基金から9.1億円の基金を取り崩すこととしています。

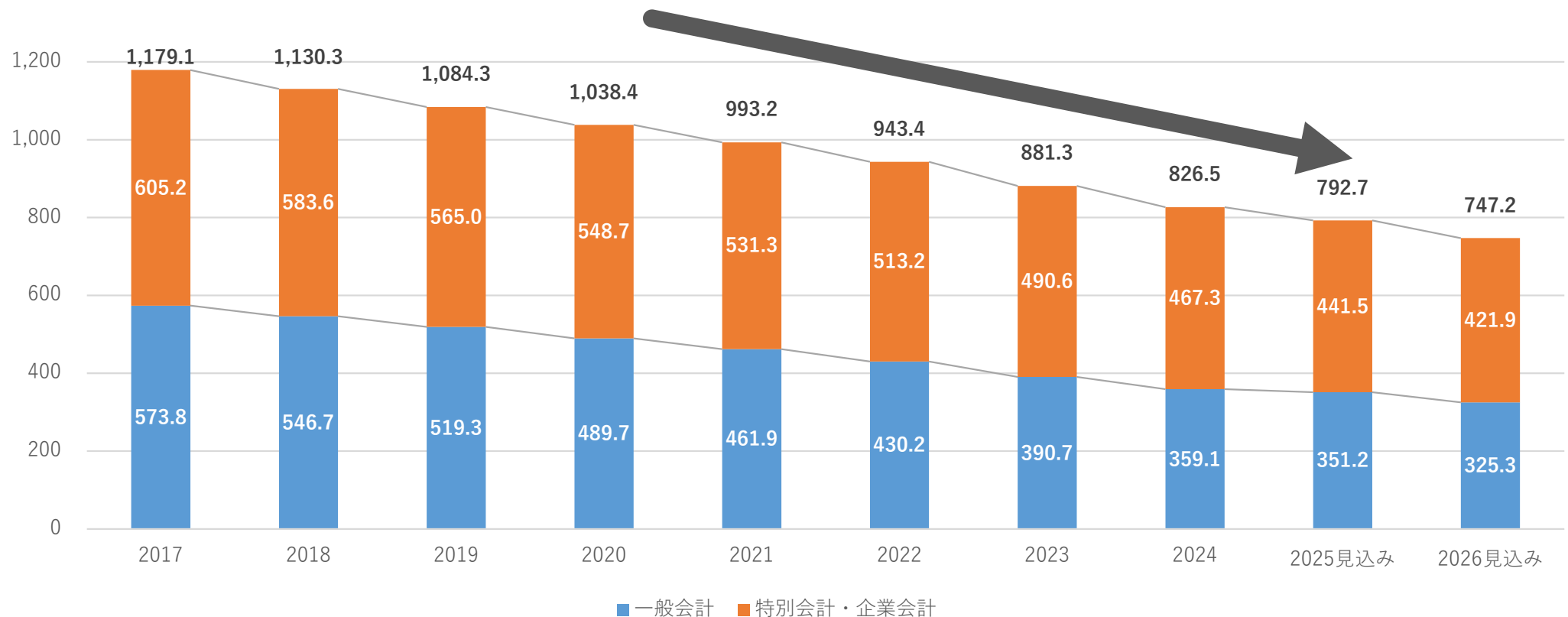


地方債

- ✓ 家計でいう借金。「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財政収支を平均化する役割」があります。
- ✓ 過去に借り入れた借金の返済は進んでおり、2026年度末の現在高見込額は、一般会計は325.3億円、特別会計・企業会計は421.9億円を見込んでいます。

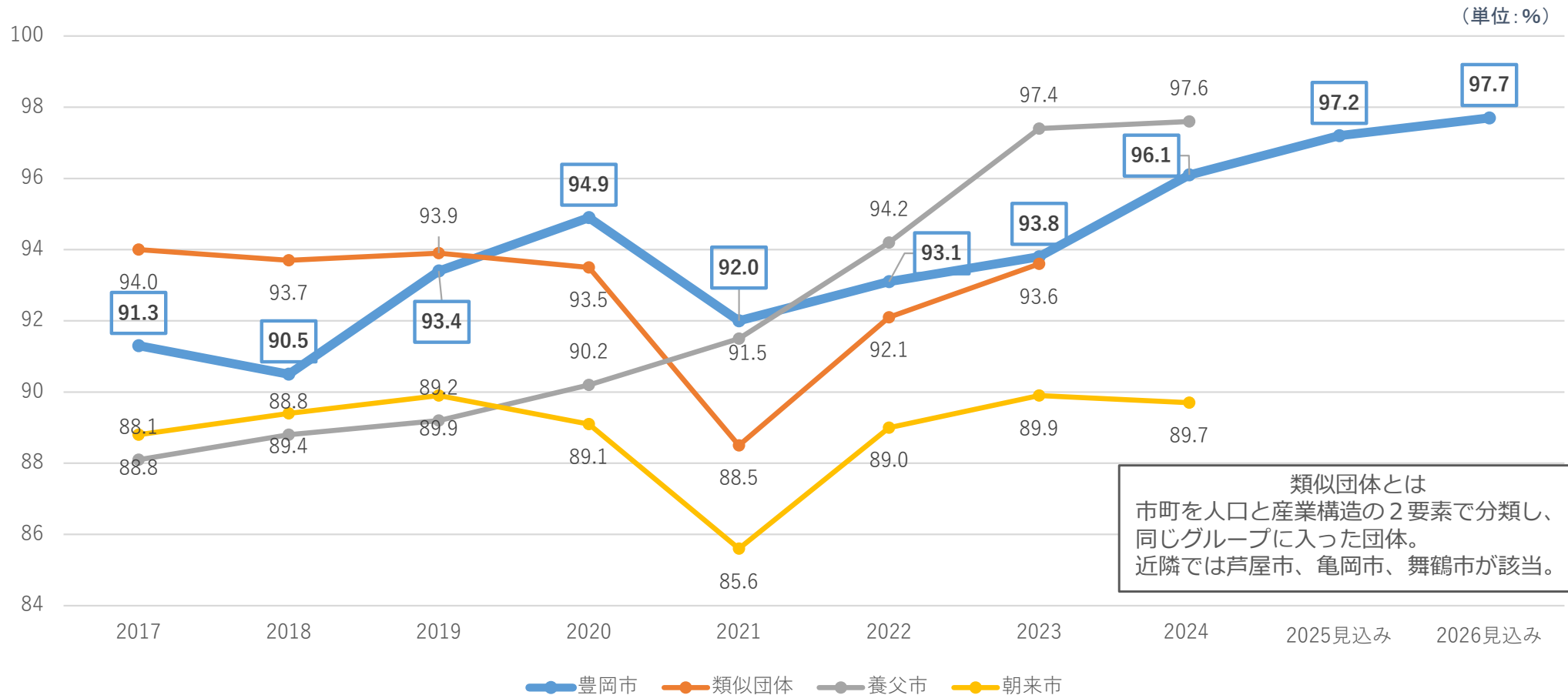
※一般会計で一番多かったのは2006年度末の現在高で678億円。
半分程度まで減っています。

(単位:億円)



財政指標：経常収支比率

- ✓ 経常収支比率とは、市税や普通交付税などの毎年度決まって収入されるお金が、人件費、扶助費、公債費などの必ず支払わなければならない経費にどの程度使われているかを示す指標。
- ✓ この指標が低いほど自由に使えるお金が生じるとされます。
- ✓ 豊岡市の比率は年々上昇しており、自由に使えるお金が少なくなってきました。

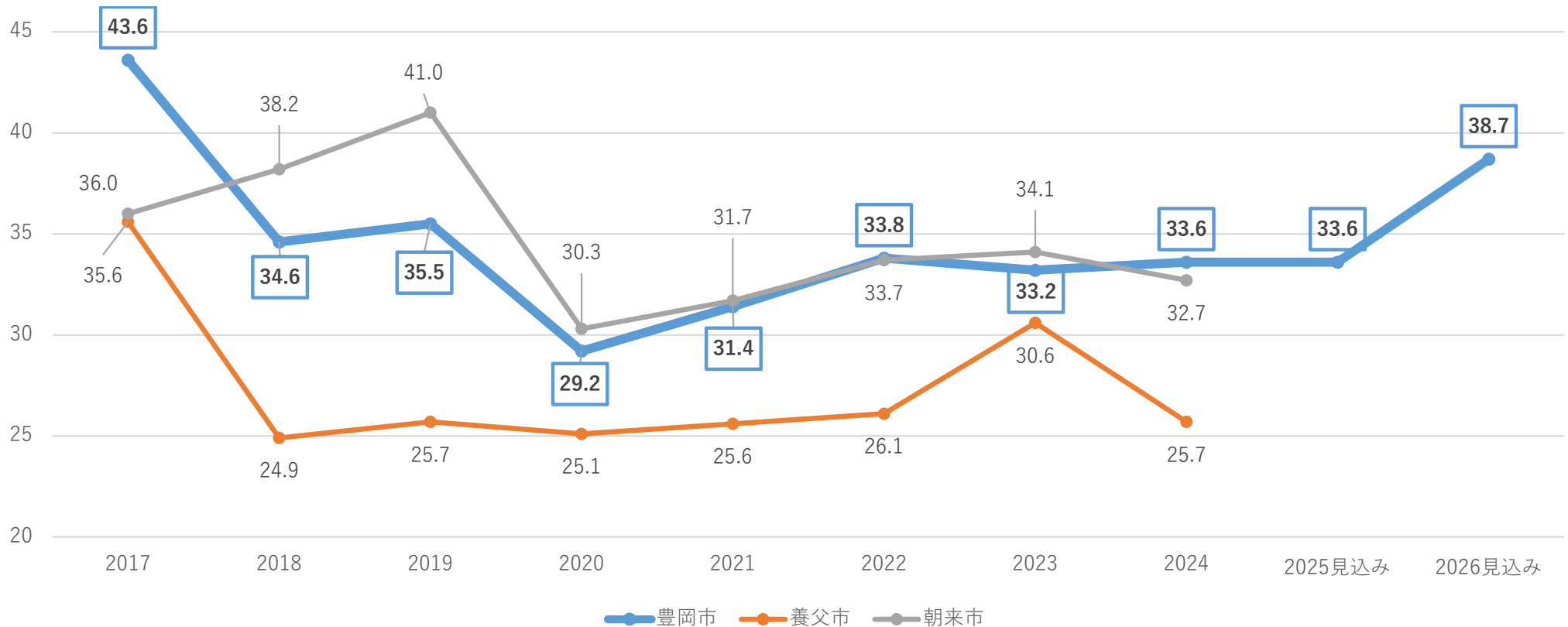


財政指標：自主財源比率

- ✓ 自主財源比率とは、自主財源が市の収入全体に占める割合を示した指標。
- ✓ 自主財源比率が高い（＝自主財源が多い）と、それだけ財政基盤の安定性と行政運営の自立性が高いと言えます。

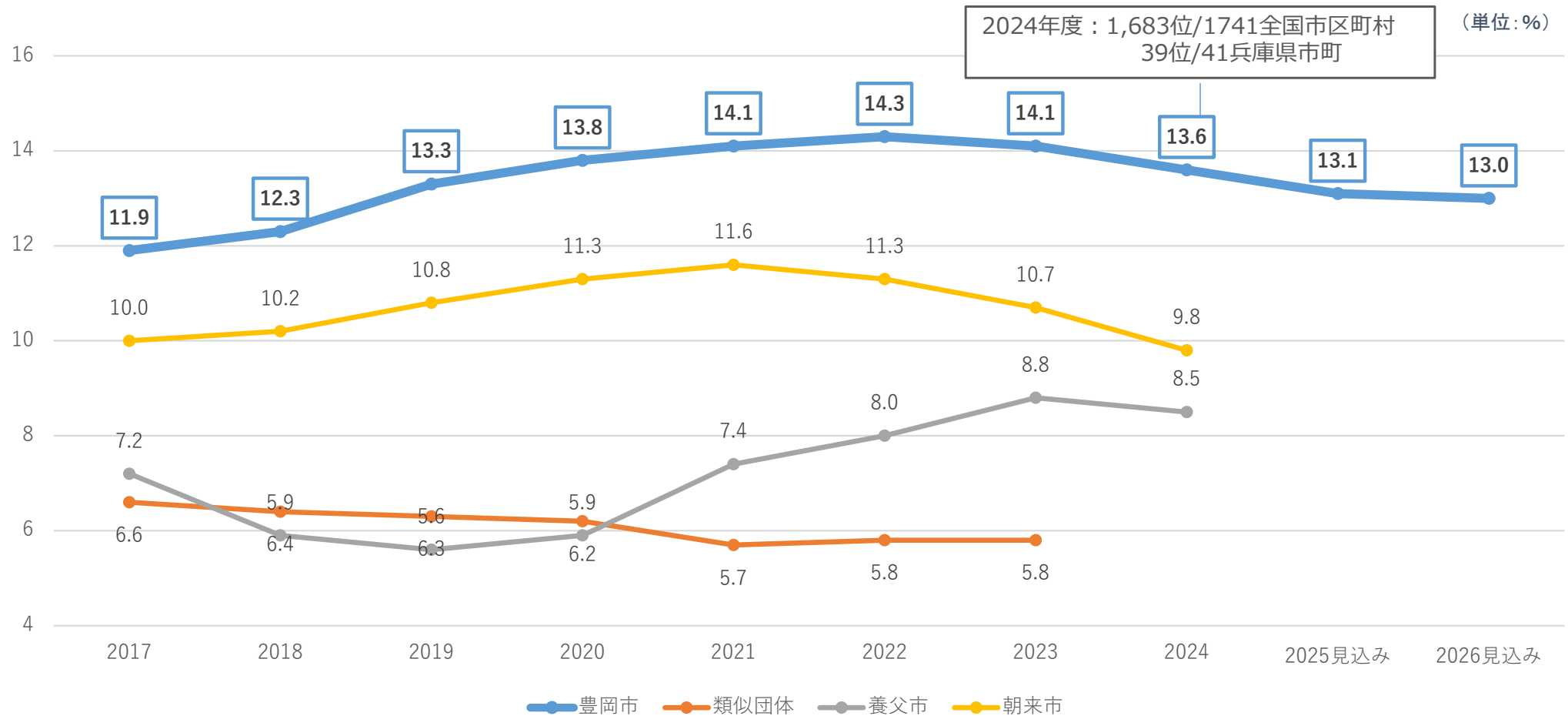
※2026年度の自主財源比率は上昇（改善）していますが、公立豊岡病院組合への貸付に伴う基金からの繰入金を増額しているため、財務体質が改善した訳ではありません。

（単位：%）



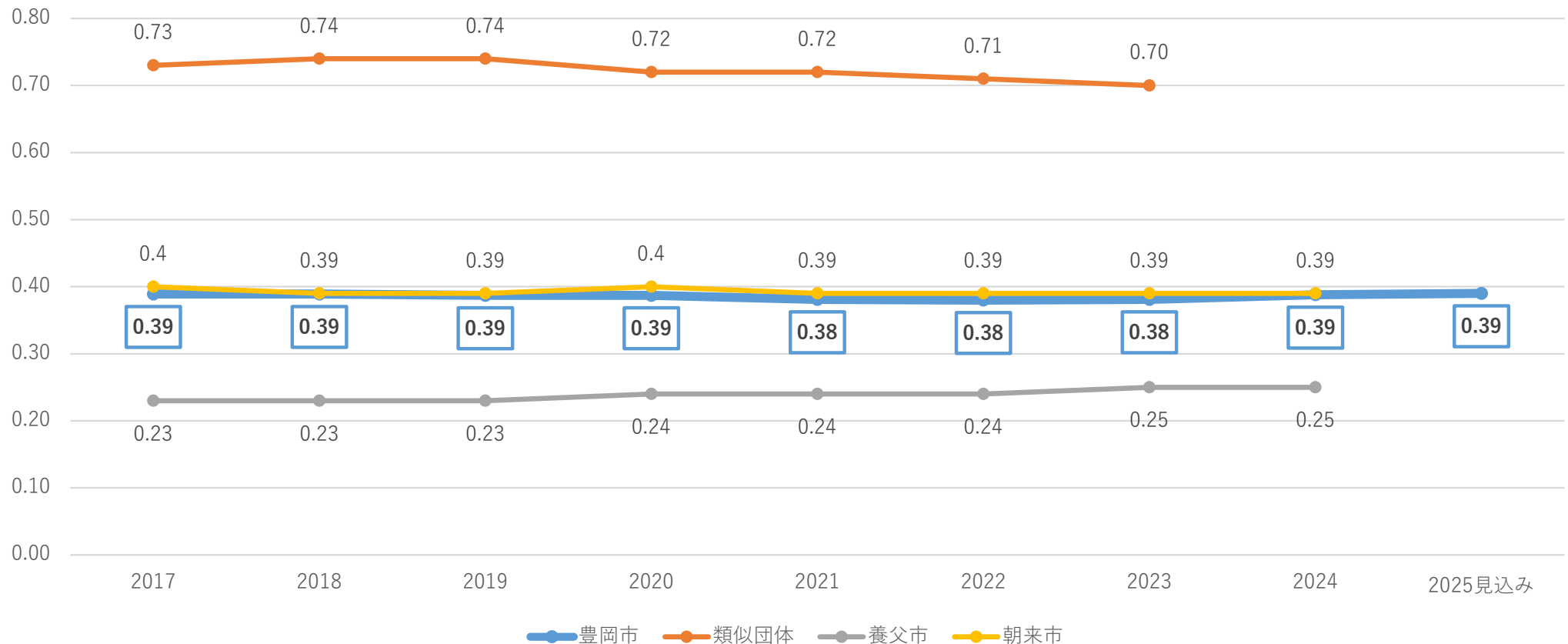
財政指標：実質公債費比率

- ✓ 実質公債費比率とは、収入のうち、どのくらいの割合を借金返済に充てているかを示す指標。この比率が低いほど財政状態が健全とされます。
- ✓ 借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、市の2024年度実績は13.6%ですが、2017年度以降は上昇傾向にあり、他の自治体と比較して高い比率となっています。



財政指標：財政力指数

- ✓ 財政力指数とは、標準的な行政行動を行うために必要な財源を、どの程度自分で調達できるかをみる指標。この指標が高いほど財政力は強いとされます。
- ✓ 豊岡市の指数は近年0.39程度で推移しており、類似団体と比較して低い数値となっています。



これから先の豊岡市の財政

- ✓ 長期的な視点で財政運営の状況を把握し、持続可能な行政サービスの財務体質の確立を図るため、今後10年間の「長期財政見通し」を、毎年8月に更新しています。
- ✓ この長期財政見通しでは、何も対策を講じない場合、年平均で約7億円の財源不足が生じる見込みとなっています。

(単位:億円)

項目	年度	2024 決算	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
歳入総額	A	344.3	322.8	322.0	318.7	313.4	311.0	305.9	300.9	297.8	294.9	291.3
市	税	96.6	97.3	98.5	96.4	95.9	95.4	93.3	92.8	92.3	90.4	89.9
地方	交付税	180.3	181.4	180.9	180.6	176.0	174.4	171.8	167.3	164.8	163.8	160.7
その他		67.4	44.1	42.6	41.7	41.5	41.2	40.8	40.8	40.7	40.7	40.7
歳出総額	B	327.7	322.7	322.7	323.0	320.1	318.8	312.2	308.0	308.1	306.8	303.8
義務的経費		170.2	155.6	154.1	152.6	149.7	149.0	147.3	145.6	147.2	148.0	149.0
人件	費	80.7	81.0	81.1	80.9	81.0	80.8	81.6	81.2	82.4	82.3	82.8
扶助	費	33.2	22.7	23.5	23.9	24.3	24.7	25.1	25.5	26.0	26.5	27.0
公債	費	56.3	51.9	49.5	47.8	44.4	43.5	40.6	38.9	38.8	39.2	39.2
物件	費	35.8	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7
補助	費等	70.2	77.6	77.5	76.8	77.3	77.1	73.0	70.5	67.9	65.3	62.5
繰出	金	29.2	32.4	32.4	32.8	33.3	33.7	34.2	34.5	34.8	35.1	35.5
維持補修	費	8.3	5.8	5.9	6.2	6.3	6.5	6.7	6.9	7.1	7.3	7.5
投資的	経費	4.9	14.2	15.7	17.5	16.4	15.4	13.9	13.4	14.0	14.0	12.2
その他		9.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
歳入歳出差引額	A - B = C	13.0	0.1	△ 0.7	△ 4.3	△ 6.7	△ 7.8	△ 6.3	△ 7.1	△ 10.3	△ 11.9	△ 12.5

※特定財源を差し引いた一般財源で算出


年平均7億円の赤字

2026年度豊岡市予算編成の考え方

ファイブ プラス ワン

創生 5 + 1 新しく起動する

(基本姿勢)

- ① 子育てに優しいまちづくり
 - ② 経済が活性化するまちづくり
 - ③ 安心安全なまちづくり
 - ④ みんなで集えるまちづくり
 - ⑤ 整備された「学び」のあるまちづくり
- +1** とともに未来をつくる行政経営

2026年度の特徴的な事業

2026年度 豊岡市の新規・拡大事業など ※新は新規、拡は拡大、継は継続事業

主要事業の概要

1 子育てに優しいまちづくり

拡 子どもの医療費助成の拡充 4,000万円

これまで「中学3年生まで」としていた外来診療の助成対象を「18歳以下の高校生年代まで」に拡大します。また、1歳から小学3年生までの医療費助成の所得制限を設けない措置についても、継続して適用します。

新 小学校給食費の無償化 1億8,925万円

国の「学校給食費の抜本的な負担軽減制度」が創設されたことを受け、市立小学校の給食費を無償化します。これにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちの健全な成長を支援します。



子育て世帯を力強く支援。市立小学校の給食費無償化で、心も体も健やかな成長を後押しします

拡 保育所等保育料の軽減 5,485万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育料を国基準から全体で約55%軽減します。これにより、保育所等利用者の約9割の世帯の保育料がこれまでの概半額となります。



保育所・認定こども園の保育料(月額)を引き下げ「子育てに優しいまち」を実現します

継 特定不妊治療の治療費、交通費助成

新 1,129万円

特定不妊治療(生殖補助医療・先進医療)費の自己負担額を軽減するため、治療1クルールの治療費の1/2を助成します。また、通院に概ね60分以上の移動を要する場合は、交通費の助成を行います。

2 経済が活性化するまちづくり

新 空飛ぶクルマの実装に向けた取組み

274万円

産業の発展と、社会課題の解決が期待される空飛ぶクルマについて、市内での空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組みを推進します。取組みを通じて、豊岡市がより「訪れたいくなる」「住みたいくなる」「働きたいくなる」憧れのまちになるよう目指します。



次世代モビリティ「空飛ぶクルマ」の社会実装に挑みます(出典:経済産業省ウェブサイト)

新 稼ぐ力強化総合支援事業 5,464万円

中小企業が収益力と生産性(稼ぐ力)を高める過程を「土台作り」「戦略立案」「競争力強化」「成長加速」と捉え、成長段階にある中小企業を各過程において支援します。

新 中小企業奨学金返済支援事業 225万円

2024年4月に県の奨学金返済支援制度の拡充が行われており、この制度による効果をさらに押し上げ、市内企業への就職・定着に結び付けるため、県制度を活用する市内企業に対して市が上乗せ補助を行います。

2026年度 豊岡市の新規・拡大事業など

主要事業の概要(つづき)

新 脱炭素先行地域推進事業 1億8,255万円

環境省の「第7回脱炭素先行地域」の採択を受けたことから「神鍋高原ゆきみらい100年宣言」など、気候変動に対して行動を起こしている日高神鍋エリアを対象に、2030年度までの集中的な施策展開を図り、脱炭素をきっかけに地域の観光再生と経済活性化を目指します。

3 安心安全なまちづくり

新 公立豊岡病院組合への財政支援

19億1,350万円

公立豊岡病院組合は、近年の物価・人件費の高騰等により、極めて厳しい経営状況に直面しています。そのため、公立豊岡病院組合から構成市(豊岡市、朝来市)に対して、25億円(豊岡市19億1,350万円、朝来市5億8,650万円)の財政支援を求められており、緊急措置として貸付という形で財政支援を行います。

新 有害鳥獣駆除対策(クマ対策、狩猟スクール、

継 鹿肉活用) 632万円

有害鳥獣捕獲を担う若手狩猟者の育成や、捕獲されたシカのジビエ等への利活用促進、クマを人里に寄せ付けないための不要果樹伐採等に取り組みます。



不要果樹を伐採し、クマを寄せ付けない環境づくりによって、地域の安全を守ります

拡 地域解決型予算(道路水路等区内環境改良事業の拡大) 3,400万円

地区からの要望に迅速に対応するため、各振興局長等の権限で執行できる事業を、道路水路等の小規模な補修の他、一部公園にも用途を拡大します。本庁及び各振興局にそれぞれ200万円を増額します。

新 訪問介護事業所への支援策 150万円

遠隔地(竹野・但東地域等)に住む市民が訪問介護サービスを利用した場合に、サービスを提供した事業所に対し、移動に伴う経費(人件費及びガソリン代)の一部を補助します。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護体制の維持・充実を図ります※生成AIにより生成

新 地域公共交通キャッシュレス決済導入支援事業 992万円

路線バス及び市街地循環バス「コバス」に、JRと互換性のある交通系 IC カードが利用できるキャッシュレス決済システム「バス ICOCA システム」を導入し、誰もが利用しやすい公共交通環境を整備します。

新 豊岡消防署日高分署の改修事業 561万円

豊岡市公共施設個別施設計画において、長寿命化を図る施設として位置付けている日高分署の改修を行い、老朽化が進んでいる建物の耐久性を改善し、持続可能な消防サービスを提供します。

4 みんなで集えるまちづくり

継 文化会館の整備 1億6,697万円

2026年1月に策定した「豊岡市民会館リニューアル基本計画」に基づき基本設計に着手するとともに、総合体育館南側隣接地の整地工事及びリニューアルオープン後を見据えた広報活動等を実施します。

2026年度の特徴的な事業

※新は新規、拡は拡大、継は継続事業

継 城崎温泉交流センターの整備 3,926万円
城崎地域の公共施設を集約するため「城崎温泉交流センター」を「城崎文芸館」と「城崎変わら細工伝承館」の機能を統合した複合施設へと建て替えます。2026年度は建替えの実施設計を行います。

継 竹野観光トイレ改修工事 1,100万円
インバウンド及び多様な世代の観光対策を図るため、中央観光トイレの洋式化、LED化等の改修工事を行います。

新 道の駅「神鍋高原」事業 800万円
道の駅「神鍋高原」の指定管理者である日高振興公社を主体に、地域ブランドの展開と施設の機能強化を進めます。

継 出石永楽館歌舞伎開催事業 9,737万円
歌舞伎俳優・片岡愛之助さんらの出演により、上方歌舞伎の公演を行うことで、市の魅力や知名度の向上を図ります。また、来館者が市内観光を楽しみ、地域経済の活性化を推進します。



歌舞伎の粋が街に舞い降りる。片岡愛之助さんを迎え、活気に沸くひとときです

新 但東シルク温泉やまびこ長寿命化改修工事 1億3,350万円
シルク温泉やまびこの温泉設備機械や温泉館内の修繕等長寿命化改修工事を行います。

5 整備された「学び」のあるまちづくり

新 社会教育・生涯学習人材バンク～まなびあいネット～の運営 91万円
「豊岡市社会教育基本計画」の基本理念である「学びや活動による『自分づくり・生きがいつくり・つながりづくり・まちづくり』を進めるため、多様な人材を市民から発掘し、市民一人一人の知識や経験を活かし、世代・地域を越えて学び合えるしくみを構築します。

継 学習用タブレット端末の更新 2億406万円
時代のニーズに応じたICT環境の整備を図り、学校現場におけるICTの積極的な活用を推進するため、2020年度に購入した小学校・義務教育学校で使用する学習用タブレット端末を更新します。



時代のニーズに応える学びのツール。新しい端末が、子どもたちの探究心を支えます

プラス1 ともに未来をつくる行政経営

継 ふるさと応援寄附金の推進 8億5,000万円
ふるさと納税の推進により自主財源の確保を図るとともに、本市のPR及び特産品等の返礼を通じ、市内経済の活性化を図ります。

新 但東地域の課題解決を目指す「但東 × プロジェクト」：キオスク端末整備 573万円
但東地域内にはコンビニがないため、住民が休日や夜間に住民票等の証明書を取得することが困難であり「手数料 200 円」という負担軽減措置を享受できないことが課題となっているため、但東地域の主要な商業施設にキオスク端末を設置します。



証明書の取得について、土曜日・祝日、夜間等も利用可能な環境を整備します

事業を詳しく知りたい方は、市ホームページの「令和8年度 豊岡市予算の概要」の「[主要事業の概要](#)」をご確認ください。



二次元コード
はこちら